

地域活性化における道の駅の活用に関しての一考察

日本大学理工学部社会交通工学科 学生会員 ○赤塚貴大
日本大学理工学部社会交通工学科 正 会 員 下川澄雄

1. はじめに

道の駅は、「休憩」、「情報発信」、「地域連携」といった3つの機能を有する「地域とともに作る個性豊かな賑わいの空間」であり、平成25年1月現在全国に996箇所設置されている¹⁾。特に、人口が減少し、高齢化が著しく地域産業が停滞している地方部においては、地域振興や地域コミュニティの場として高いニーズが期待されているものの、その潜在力を活かしていない例も少なくないと推察される。

そこで、本研究では、道の駅の沿道や施設状況の特徴を明らかにするとともに、利用促進にあたっての課題を明らかにする。

2. 道の駅の設置環境と施設調査

本研究では、国土交通省中部地方整備局（以降「中部地整」という）管内の、全145箇所の道の駅を対象に、「平成22年度道路交通センサス一般交通量調査結果」を用い、沿道交通量、沿道状況等を調査した。中部地整としたのは、多彩な地域条件を有しているとともに、各県とも積極的な道の駅の整備がみられるためである。図-1は、交通量別道の駅数である。これによれば、全体の1/3以上の道の駅は、設置要件を下回る交通量5,000台/日以下である。

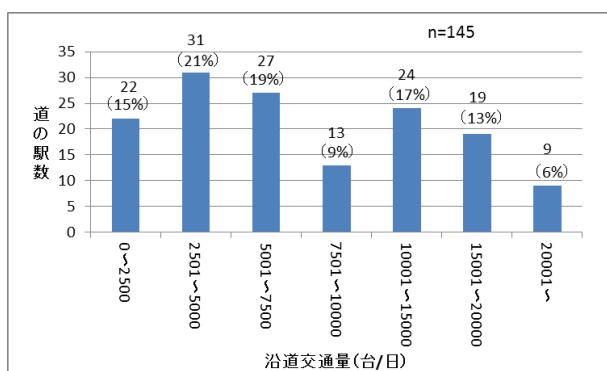


図-1 交通量別道の駅数

図-2は、沿道状況別の道の駅数である。これによると、ほとんどの道の駅は、平地部または山地部に多く設置されている。さらに、これらのうち交通量5,000台/日以下の道の駅は52箇所存在する。

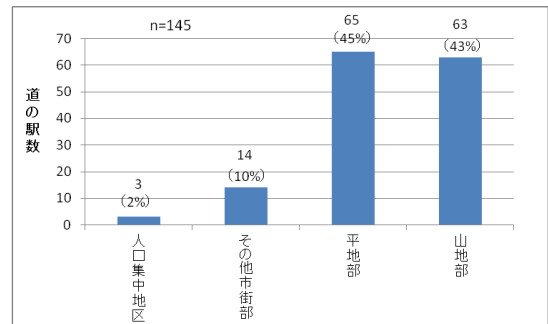


図-2 沿道状況別道の駅数

図-3は、中部地整の道の駅HPから、設置されている施設を集計したものである。駐車場、トイレおよび情報提供施設は設置が義務付けられているが、この他では、物販施設、レストランおよび軽食喫茶施設、無料休憩所が多く道の駅で設置されていることがわかる。一方で、体験施設、博物館、温泉等を設置している道の駅もみられるが、これらは平地部や山地部に多い（図-4参照）。

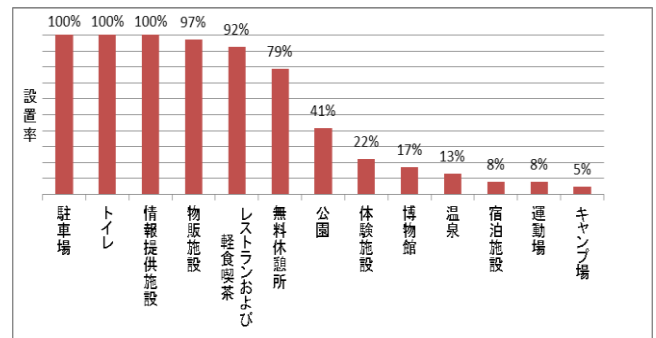


図-3 道の駅に設置されている施設の状況

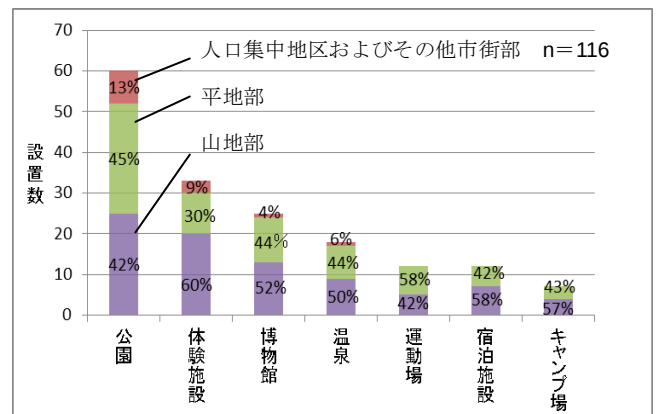


図-4 公園等各施設の沿道状況別設置数

キーワード 地域活性化、平地部、山地部、地域コミュニティ

連絡先 〒274-8501 千葉県船橋市習志野台7-24-1 道路マネジメント研究室 TEL 0474-69-5503

3. 地域活性化を念頭においた道の駅の事例

地域活性化において、道の駅に対する期待は高く²⁾など、交通量の少ない平地部または山地部に多くの道の駅が設置され、一部の道の駅では体験施設や温泉等の施設が設置されているのはその表れだと推察される。

そこで、地域活性化を念頭に置いた取り組みがなされている道の駅の事例を、全国の各道の駅のHPやヒアリングにより収集した。

道の駅を地域活性化の視点として捉えるならば、道の駅を介して如何に交流を図るかが重要となる。そのためには、道の駅で魅力ある取り組みを行っている、あるいは、地域内に来訪し交流を促すことができる交通手段や情報提供施設等を道の駅が備えている必要がある。一方で、地域活性化を地域住民の生活の視点で考えるならば、地域コミュニティや交通結節点としての場としても捉えることができよう。このことから、事例収集にあたっては、これらの視点を念頭においた。

(1) 地域交流の場として取り組んでいる道の駅

表-1は、道の駅に設置された地域活性化を念頭に置いた取り組み事例である。農産物等の販売は図-3にもあるように多くの道の駅で行われているが、これに加えて体験型等の事例がみられる。また、道の駅を起点として地域内の観光スポットを周遊するバスやレンタサイクル等もみられる。しかしながら、そのPR方法は、地域コミュニティ誌や地元ラジオ等で紹介された単発的なもの以外では、各道の駅のHPに限られ、戦略的な広報は行われていない。さらに施設の予約方法も電話や現地受付がほとんどである。

一方、多くの道の駅では、タッチパネル式の情報提供装置等が設置されているが、無線LANやITSスポット等が設置されている道の駅も存在する(表-2参照)。

表-2 地域交流の場としての道の駅 (2)

道の駅名	所在地	設置施設およびサービス	取組内容
北信州やまのうち	長野県下高井郡山ノ内町	無線LAN	無料で利用者にインターネットの接続環境を提供
針・R・S	奈良県奈良市	ITSスポット	ITSスポット対応カーナビ搭載車両に対し、周辺の道路情報や観光情報等を提供

表-1 地域交流の場としての道の駅(1)

道の駅名	県名	取組内容	主な利用客	PR方法	予約方法
きりら坂下	岐阜県中津川市	手作り体験教室(そば打ち等)	日帰りの県外利用者(愛知県民中心)	道の駅HP、地域コミュニティ誌、ラジオ	電話、メール
くりもと	千葉県香取市	貸し農園、体験農園	都内、県内住民(浦安市民中心)	道の駅HP、地域コミュニティ誌	電話、現地受付
川根温泉	静岡県島田市	温泉	県内住民、県外の観光客	道の駅HP、雑誌、テレビ	—
オアシスおぐせ	長野県小布施町	周遊バス	県外の観光客	道の駅HP、市役所HP	—
美濃にわか茶屋	岐阜県美濃市	レンタサイクル	愛知県、三重県からの観光客	道の駅HP	電話、現地受付

光情報等を提供できる環境はなく、ITSスポットによる双方向通信機能によるサービスも提供されていない。

(2) 地域コミュニティ・交通結節点として活用している道の駅

表-3は、地域コミュニティの場として、また、交通結節点として道の駅が利用されている例であるが、このような施設が設けられた道の駅は必ずしも多いとはいえない。過疎地域等において、コミュニティ施設をコンパクトに集約するとともに、ここに交通機能をまとめることは、地域経営上の観点からも有効である。その際、休憩施設や駐車場が整備され、加えて情報機能を備えている道の駅がその機能を果たすことは合理的であると考えられる。

表-3 地域コミュニティ等の道の駅

道の駅名	所在地	設置施設	利用状況
白川郷	岐阜県大野郡白川村	文化交流施設	地域住民の生涯学習や、中学生の模試に利用
桜の里荘川	岐阜県高山市	バスターミナル	高齢者が通院や買い物に利用し、高校生も通学に利用

4. おわりに

地域活性化にあたり、道の駅において、地域に根差した種々の取り組みを進めていくことは重要である。

しかし、本研究で収集した事例からは、これに合わせて道の駅に来訪するきっかけとなるコンテンツや広報活動を戦略的に進めていくことが重要である。さらに、域外から人を呼び込むばかりでなく、住みやすい生活が営める中心的な場として道の駅を捉えていくことも重要であるといえる。

今後とも事例収集に努めるとともに、それらを踏まえたより多面的な視点から、道の駅の地域活性化に向けた提案を行っていきたい。

参考文献

1) 国土交通省道路局 HP

http://www.mlit.go.jp/road/station/road-station_outl.html

2) 丹羽正孝：未知倶楽部駅長コラム(第8回「これからの道の駅」)、2011年4月

<http://www.michi-club.jp/column/column-template.php?columnid=294>